＜福島県納税貯蓄組合連合会長賞＞

税について

只見町立只見中学校

２年　鈴木　凜

　私は、「税金」と聞いて一番に思い浮かぶのが消費税です。

　しかし、一番に思い浮かぶ消費税でも、何の意味があるのかわからないままただ払わないといけないから何となく払っていました。

　しかし、私は消費税はどんなものなのか疑問に思いインターネットなどで調べてみると、私たちのくらしは全て税金で成り立っていることがわかりました。

　私たちは毎日のように学校に通っています。そして学校では教科書を使って勉強をしています。その教科書を私たちは当たり前のようにもらって当たり前のようにその教科書を使っていますが、教科書の裏を見てみると、「これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。」と書かれています。

　私はこの言葉を読んだとき、税を納めることが義務のように、この言葉にこめられた私への期待にこたえる必要があると思いました。

　また、私たちの町の病院や学校、市役所、公共の施設、道路など全て税金で成り立っていて、税金をちゃんと納めることで、人々の命を助けることができたり、より住みやすい町をつくることができます。

　それに、日本国民が納めた税金は、国外でも貧しい人々の生活を支えているのです。

　例えば、発展途上国の経済活動に使われていて、病気の人や、食料がなくて困っている人たちなどの援助として使われているのです。

　私は、日本で納められた税金が貧しい人々の援助に使われていると知ったとき、「人々

の助けになるのなら、ちゃんと税金を納めよう！」とすごく思いました。少しでも、お金がなくて苦しむ人々が減り、国と国が支え合って、協力し合って、思いやりのある世の中にしていきたいと私は思いました。

　そのために私たち国民に今できることは、８％の消費税を納めることだと思います。２０１４年の３月頃に消費税は５％から８％に増税しました。初めは、高いと思っていたのですが、税金がどんなことに使われているのか知ったとき消費税がいくら増税しても私はちゃんと納めようと思いました。

　しかし、そんな税金ですが、少し違うことに使っている部分もあると思います。国民が納めた大切な税金の使い道にしっかり目を向けていくことが必要だと思います。

　私は、税についてこの作文を書いて、私たち日本国民が納めた税金はとても役立っているということが知れてとても良かったと思います。私はこれからもちゃんと税金を納めていきたいと思います。